

紹介受診重点医療機関を希望する理由として

資料4

当センターは、もとより小児医療に特化した専門施設として、愛知県内全域から紹介患者を受け入れています。ただし、大学病院等との機能分担として血液・悪性腫瘍を扱わないため、外来機能報告の項目にある外来化学療法や放射線治療、悪性腫瘍手術等の算定はありません。逆にそれ以外の分野として大学病院等で診療していない医療を受け持っており、例えば小児の心臓手術（県下の手術件数の約50%）や脳神経外科手術（外傷や腫瘍を除く水頭症や頭蓋骨早期癒合症、髄膜瘤などはほぼ100%）など「特定の領域に特化した機能」を果たしています。また、元々症例数の少ない先天的な希少疾患や、小児では有病率の低い膠原病やリウマチ性疾患、Common diseasesの中でも特に重症度の高い患者（透析を必要とする腎不全、アナフィラキシーを伴う食物アレルギーなど）を、標準的な患者として扱っています。在宅人工呼吸器などを含む医療的ケア児の外来診療も、地域の在宅診療システムと連携して進めています。小児患者の地域での受け入れについては、ようやく少しずつ理解が進んでいるところです。これらは、患者の絶対数では評価されにくい「特定の領域に特化した」患者と認識しています。これが、本制度の趣旨に叶うものかどうか、再度のご評価をお願い致します。

あいち小児保健医療総合センター